

平成26年 8月 20日

平成27年度における  
「慢性腎臓病 (CKD) 及び生活習慣病対策」についての陳情

大磯町議会議長 奥津勝子 様

代表陳情者 足柄上郡中井町雑色409  
中郡腎友会  
会長 城所優子



陳情者 横浜市神奈川区台町1-8  
ウェイサイドビル504号  
特定非営利活動法人 神奈川県腎友会  
会長 岸上武志



1. 陳情の要旨

慢性腎臓病 (CKD) の予防や重症化を防ぐために、より一層の啓発活動を  
広域に展開する予算策定を、陳情申し上げます。

2. 陳情の理由

平成25年2月に発足した、神奈川県保健局保健予防課を事務局として、慢性腎臓病 (CKD) 対策連絡協議会が年2回程開催され、患者団体であるNPO法人神奈川県腎友会も委員として参加しており、CKDの予防・重症化防止などについて討議されてきました。

NPO法人神奈川県腎友会は神奈川県より委託を受け、啓発活動として各市町村腎友会と共に「医療講演会」・「相談会」を、腎臓病専門医や栄養士の先生方と共に取り組んでおりますが、一般市民、特に腎臓病予備軍と云われる多くの方々には、未だ認識されていないと思われまます。

慢性腎臓病 (CKD) が悪化し透析医療を受ける事になると、治療費は概ね月当たり30~49万円程掛かります。これ等医療費は様々な形で助成、支援を受けております。

年々増加している神奈川県内に於ける透析患者数は、2013年12月31日現在19,149名 (日本透析医学会調べ) となっており、CKD対策は、私達のように透析で苦しむ人を一人でも無くすためにも重要な取組みであり、医療費の削減にも繋がります。

年々、高齢化による腎硬化症に加え、生活習慣病、メタボリックシンドローム、成人病などによる糖尿病性腎症が大変増えていることから、病院施設での医師、栄養士を中心とした医療・栄養講演会、特に糖尿病・成人病予防対策を保健所なども通して、一般の人々への啓発が必要と考えます。

また、患者の立場から、県内各市町村の小中学校の生徒さんに (教育委員会との調整を要する) 福祉学習やふれあい交流学習会などの時間を通して、透析の怖さを始め、食事や健康の大切さ、加えて他者への思いやり等を知ってもらうため、若年層への啓発活動も実施していきたく思います。

ゆえに、平成27年度予算策定にあたり、CKDの予防や重症化を防ぐために、より一層の啓発活動を広域に展開する予算策定を陳情申し上げます。